

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

第1学年 算数科学習指導案

1 単元名	「なんばんめ」	1組 井口あや子	2組 新垣真理子
2 単元の目標		3組 仲宗根史織	4組 照屋有未
		5組 知念敦子	

- ・個数や順序を正しく数えたり表したりする活動を通して、順序数と集合数の関連を理解することができる。
- ・前後、上下、左右などの言葉を正しく使ってももの位置を表すことができる。

3 本校校内研テーマ (授業の視点)

(1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育(自立)を視点においた「6つの手立て」を通して～

(2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

- ①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子
- ②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子
- ③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子
- ④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

(3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

- ①全員つぶやき、全員挙手(ハンドサイン) ②問い返しのある「対話」
- ③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等
- ⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

4 自立に係る児童の課題

(1) 授業における児童の課題

- ・数の大小や順序については学習しているが、まだ数の概念が理解できていない子がいる。
- ・集合数と順序数の意味を理解していない子がいる。
- ・自分の思いをうまく伝えられない子がいる。
- ・問いかけに対して反応を示す子が少ない。
- ・粘り強く考えようとしない。
- ・姿勢が悪い。

(2) 授業以外の活動における児童の課題

- ・あいさつや発表の声が小さい
- ・課題に対して意欲的に取り組まない子がいる。「はーやるのー」「やりたくない」等の発言がある。

5 本時の指導「なんばんめ」(1/2 時間)

(1) ねらい

左右、前後、上下、などの言葉と順序数を使ってももの位置を表すことができる。

(2) 本時の評価規準

評価の観点	考え方、技能
評価の規準	基準になる言葉と数を適切に使って位置を表すことができる
評価方法	ワークシート、発表



第2学年 国語科学習指導案

1 単元名 すきなことをつたえよう

2 単元の目標

◎自分の好きなことや得意なことを、理由を添えて話したり、友達の話聞いて感想を述べ合ったりする。

3 本校校内研テーマ (授業の視点)

(1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育(自立)を視点においた「6つの手立て」を通して～

(2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

- ①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子
- ②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子
- ③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子
- ④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

(3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

- ①全員つぶやき、全員挙手(ハンドサイン) ②問い返しのある「対話」
- ③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等
- ⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

4 自立に係る児童の課題

(3) 授業における児童の課題

- ・2学年の児童は、明るく元気な子が多い。授業の中では、積極的に挙手して、発言する子とそうでない子の差がある。
- ・書く活動に個人差がある。

(4) 授業以外の活動における児童の課題

- ・家庭学習をしてこない子がいる。
- ・けがが多い。

5 本時の指導「すきなことやとくいなことを書きだそう」(2/8時間)

(1) ねらい

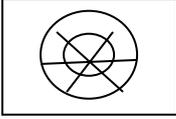
「話すまでのじゅんび」内容にそって、好きなことや得意なことを書き出す。

(2) 本時の評価規準

評価の観点	すきなことやとくいなことを考え、ワークシートに書いている。【話聞ア】
評価規準	おおむね満足
評価方法	授業内→好きなことや得意なことについて、自分で考えたり友達から聞いた りしてワークシートに書いているか。(発表・観察) 授業後→ワークシートの提出

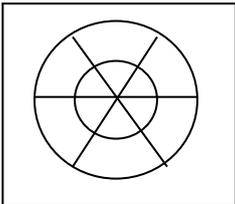
【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

(3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入	1, 「話すまでのじゅんび」①の内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">①好きなことやとくいなことを書き出そう。</div>	「好きなことやとくいなことを考えて、書くんだね。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P,46 を読み「話すまでのじゅんび」①の内容を確認する。</li> <li>・ワークシート配布。説明</li> </ul>
展開	2, 自分の生活を振り返り、好きなことや得意なことを考えて、ワークシートに書き出す。  3, ペアやグループで、ワークシートを見せ合ったり話し合ったりして、さらに考えついたことを書き加える。	<p>「わたしは〇〇することが好きです。」</p> <p>「わたしがとくいなうんどうは〇〇です。」</p> <p>「好きなことやとくいなことはあまりないな。」</p> <p>「〇〇さんと同じで、わたしも〇〇が好きだな。」</p> <p>「〇〇さんは〇〇が上手だよ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の色々な場面に目を向けて考えるようにさせる。</li> <li>・何人かの児童にまず発表させ、掲示した拡大ワークシートに書き込み、方法を示す。</li> <li>・あまり思いつかない児童のために相互交流をさせる。</li> <li>・友達の書いたものを見て考えを広げる。</li> <li>・友達から見てこんなことが好きそう、得意そうと思うことを伝えてもらい、さらに考え付いたことを書き加えさせる。</li> </ul>
まとめ	4,好きなことやとくいなことを考え、ワークシートに書き出せたか振り返る。 「書き加えることはないか次の時間までに考えていてください。」	<p>「わたしは〇こ書けたよ。」</p> <p>「もっとないかな。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意なことについては自分では自覚のないことも多いので、次時までには友達や家族に聞いてくるよう伝える。</li> </ul>

6 板書計画

は書き  
な  
き  
い  
く  
か  
わ  
か  
え  
る  
よ  
こ  
う  
と



め  
あ  
て  
す  
き  
な  
こ  
と  
や  
と  
く  
い  
な  
こ  
と  
を  
書  
き  
出  
そ  
う

す  
つ  
き  
た  
な  
え  
こ  
よ  
う  
を

…②① 話  
じす  
ゆま  
んで

○となりのともだちやグループの  
友だちと話しあおう。

まとめ・ふりかえり

第3学年 道徳学習指導案

1 主題名 「すばらしい学級をめざして」 内容項目：C よりよい学校生活、集団生活の充実

2 資料名 「学級しょうかい」

3 本校校内研テーマ（授業の視点）

(1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育（自立）を視点においた「6つの手立て」を通して～

(2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子

②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子

③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子

④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

(3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

①全員つぶやき、全員挙手（ハンドサイン） ②問い返しのある「対話」

③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等

⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

4 自立に係る児童の課題

(5) 授業における児童の課題

・本校の児童は、明るく素直な子が多いが、授業中は積極的に挙手し、発言する児童は限定される。

また、自分で課題を見つけ、他者と関わっていく主体性はまだ身につけていない。

・自分の思いや考えを文章に書けない子がいる。

(6) 授業以外の活動における児童の課題

・あいさつ、返事、宿題をするなど基本的なことが身につけていない。

5 本時の指導

(1) ねらい

みんなが一つになって頑張った3年2組のすばらしさに気づき、自分たちの学級のよさに目を向けて、協力し合ってよりよい学級を作ろうとする態度を養う。

(2) 本時の評価規準

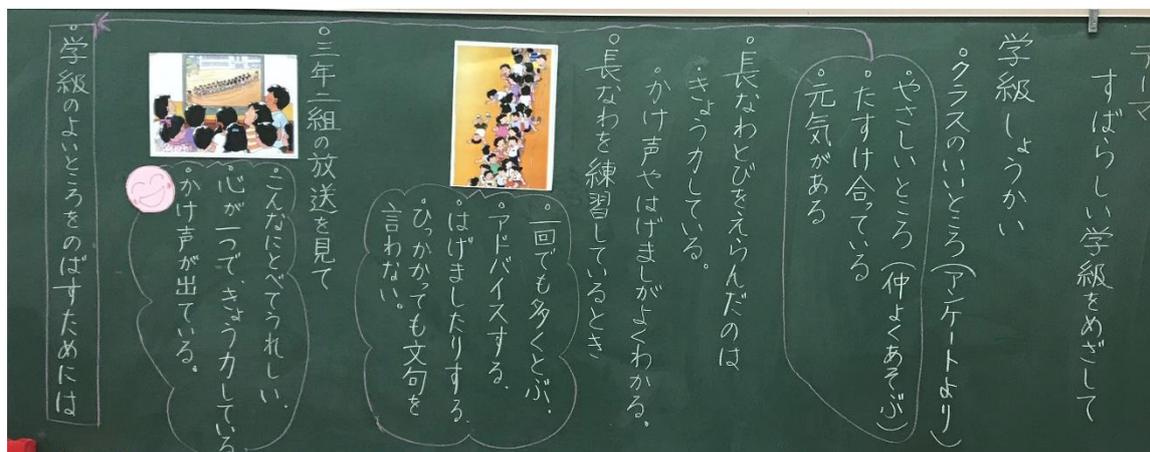
みんなが一つになって頑張った3年2組のすばらしさに気づき、自分たちの学級のよさにも目を向けることができたか。

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

(3) 展開

過程	学習活動・内容、発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
	<p>(1) 自分の学級のよいところはどんなところか考える。</p> <p>(2) 教材文「学級しようかい」を読んで話し合う。</p> <p>①学級のみんが、学級紹介をするのに長縄跳びを選んだのはどうしてでしょう。</p> <p>②長縄跳びの練習をしているとき、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>③「すばらしい学級」の放送をみて、みんなはどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>(3) 自分の学級のよいところをさらに伸ばすために、どうしたらよいのかを考え、発表する。</p> <p>(4) 今日わかったことを振り返る。</p>	<p>○みんなが仲良く助け合うところ</p> <p>○学級のみんが跳んでいるところを見て、協力していることがわかるから。</p> <p>○アドバイスをしたり、励ましたりして、少しでも多くの回数を跳ぼう。</p> <p>○こんなに跳べるようになってうれしい。みんなで練習できてよかった。</p> <p>○男女関係なく声を掛け合ったり助け合っていくとよい。</p>	<p>○事前アンケートを思い出し、自分の学級と重ねて考えることができるようにする。</p> <p>○「長縄跳びをするとどんないいところが見せられるかな」と問いかけ、「励まし合い」「助け合い」「協力」の視点からよさに気づかせる。</p> <p>○挿絵の表情を捉えてどんな気持ちか問いかけることによって取り組んでよかったという成就感や学級への所属感を味わわせる。</p> <p>○自分たちの学級のよさを想起させながらさらに、よくするためにどうしたらよいのかを具体的に考えさせる。</p> <p>○振り返りシートに書かせる。</p>

(4) 板書計画



## 第4学年 学級活動指導案

令和元年 5月20日(月) 3校時

北中城小学校 4年1.2.3組

指導者 花城 千恵子

嘉納 佳子

安谷屋 愛実

### 1 議題「学級を楽しくするプロジェクトを考えよう！」

(1) イ 学級内の組織作りや役割の自覚

### 2 議題について

各学級では、学年初めに3年生の経験を元に係を決め、それぞれ係活動がスタートしている。しかし、これらの係活動は、当番的な活動(保健、配り、体育、お手紙、黒板等)がほとんどで「やらされている感」の児童も中にはいる。そこで、現在の係活動とは別に「学級を楽しくしたい」「みんなの役に立ちたい」という自主的な取り組みとしてのプロジェクトを話し合い、自分たちでいい学級を作っていくとする自主的、実践的な活動につなげたい。

### 3 本校校内研テーマ (授業の視点)

(1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育(自立)を視点においた「6つの手立て」を通して～

(2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子

②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子

③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子

④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

(3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

①全員つぶやき、全員挙手(ハンドサイン) ②問い返しのある「対話」

③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等

⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

### 4 自立に係る児童の課題

(7) 授業における児童の課題

- ・与えられた課題は取り組むが自主的な学習への発展が出来ない。
- ・自主的に意見を言えない児童がいる。

(8) 授業以外の活動における児童の課題

- ・そうじや当番など、指示されたことはできるが臨機応変に判断し行動することが出来ない。

### 5 本時の指導「学級を楽しくするプロジェクトを考えよう！」(1/2時間)

(1) ねらい

- ・学級をより良くするために、プロジェクトについて主体的に考え発言することができる。

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

(2) 本時の評価規準

思考力・判断力・表現力等	よりよい学級の生活づくりに向けて考え、話し合っている。
--------------	-----------------------------

(3) 展開

学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
1. 話し合いの3つのルールを確認する。	・聞いていることを態度で示そう ・優しく言おう ・どの意見も大切にしよう	・トーキングスティックを使い輪番で発言する。 (パスしてもよい)
2 ハッピーさがしをする。	・～でうれしかった。 ・～してくれてありがとう。 ・〇さんが～していた。すごい。	
3 今日の議題を確認する。	学級を楽しくするプロジェクトを考えよう。	
4 作戦タイム グループごとに案を考える。	・〇〇プロジェクト ・〇〇会社 ・〇〇タイムス etc…	・グループごとに案を書き、黒板に黒板係が貼り出す。 ・よりよい学級の生活づくりに向けて考え、話し合っている。
5 プロジェクトの意見を発表し、絞り込む		【観察】 [思考・判断・表現力] ・教師からのアドバイスは最小限にとどめる。
6 担当を決める際のルールを話し合う	・好きなどころに入ればよい ・人数を決めるのかな。 ・一人だったらどうする？	次回の会議につなげる
7 決まったことを発表する		

(4) 板書計画

プロジェクトチームを決める時のルール

・ ・ ・

第二回〇〇会議  
議題  
学級を楽しくするプロジェクトを考えよう。

## 第5学年 社会科学習指導案

北中城小学校5学年

授業者 喜屋武 早苗 松下 大地  
平良 栄一郎 中村 雅代

### 1 単元名 自然条件と人々の暮らし

#### 2 単元の目標

気候や地形などの自然条件の異なる地域の人々の生活を、自分たちの住んでいる地域の生活と比べながら具体的に調べ、国土の自然の特色や自然条件に適応して暮らしている人々の工夫や願いをとらえさせる。

#### 3 本校校内研テーマ (授業の視点)

##### (1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育(自立)を視点においた「6つの手立て」を通して～

##### (2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

- ①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子
- ②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子
- ③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子
- ④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

##### (3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

- ①全員つぶやき、全員挙手(ハンドサイン) ②問い返しのある「対話」
- ③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等
- ⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

#### 4 自立に係る児童の課題

##### (9) 授業における児童の課題

- ・自ら進んで発表する子が少なく、教師主体の授業になっていることが多い。
- ・課題を見つけ、主体的に調べ考え、表現することに課題がある。

##### (10) 授業以外の活動における児童の課題

- ・係活動や当番活動など、指示待ちの傾向にあり、主体的な活動はあまり見られない。
- ・積極的にあいさつする子は少ない。

#### 5 本時の指導「寒さのきびしい北海道」(3/8時間)

##### (1) ねらい

北海道の位置や気候の様子、家のつくりなどについて資料をもとに調べ、自分の地域と比較しながら、人々が自然環境に合わせた生活を営んでいることを捉えることができるようにする。

##### (2) 本時の評価規準

北海道の気候の特色と人々の暮らしの工夫を関連づけて考えている。(思考・判断・表現)

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

(3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入	1. 那覇市の雨温図と札幌市の雨温図を比較する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温が零度以下になっている</li> <li>・北の地方じゃないかな。</li> <li>・沖縄と比べて雨が少ない。</li> <li>・6月なのに雨が少ない。</li> </ul>	○雨温図を丁寧に読み取り、那覇市と比較することで、その違いから寒い地域であることをつかむ。
北海道の気候の様子や、気候にあわせた工夫について調べよう。			
展開	2. 北海道の位置や広がりの様子を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道は日本列島の北の方にある。</li> <li>・面積は日本で1番広い。</li> </ul>	※地図帳
	3. グラフや写真などの資料を読み取り、北海道の気候の特色について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エのグラフから札幌市では6mもの雪が降り積もる。</li> <li>・イの写真はゴールデンウィークなのにスキーしている。</li> </ul>	○札幌市の年間降雪量の、6mについて身近なものの高さと比較して具体的に捉えさせる。
	4. 気候の特色に合わせた家のつくりや除雪、くらしの工夫などについて、資料を読みとって調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根が斜めになっている。</li> <li>・まどが2重になっている。</li> <li>・夜中に除雪車が作業している</li> <li>・道路にすべり止めの砂がおいてある。</li> <li>・雪のレジャーを楽しんでいる。</li> </ul>	○雪が積もることで困ること、気温が低いとどうなるか予想させることで、調べたいという意欲につなげたい。
まとめ	5. 北海道の気候や人々の暮らしの様子についてふり返りまとめる。		○資料から自分たちの地域と比較しながら、特色に合わせた工夫がされていることに気づかせたい。 ◇北海道の気候の特色と人々の暮らしの工夫を関連づけて考えている。 《思・判・表》

(4) 板書計画

5/20(月) 寒さのきつい北海道  
北海道の気候の様子や気候にあわせた工夫について調べよう。

那覇市 札幌市 → 北海道 → 日本の北にある面積が1番大きい

雪が6mも積もる  
0℃以下になる  
↓ 困ること

- ・外に出られない
- ・すべる
- ・とにかく寒い
- ・外で遊べない
- ・暑着しないといけない

北海道(札幌市)では寒い気候に合わせて家のつくりなという工夫をしている。

どんな工夫をしている？  
調べてみよう。

- 家のつくり
- その他

夜から朝にかけて除雪を行う。  
○すべり止めの砂がおいてある。

0℃以下 北の方?  
雨が少ない。  
6,7月に雨が少ない。  
夏でも20とちと

## 第6学年 英語科学習指導案

### 1 単元名 When is your birthday?

### 2 単元の目標

- ・積極的に誕生日を尋ねたり、誕生日を答えたりしようとする。
- ・英語での月の言い方や、誕生日の言い方を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を識別し、その読み方に慣れ親しむ。
- ・世界と日本の祭りや行事に興味を持ち、時期や季節の違いに気づく。

### 3 本校校内研テーマ (授業の視点)

#### (1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育(自立)を視点においた「6つの手立て」を通して～

#### (2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

- ①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子
- ②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子
- ③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子
- ④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

#### (3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_は授業における具体的な手だて

- ①全員つぶやき、全員挙手(ハンドサイン) ②問い返しのある「対話」
- ③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等
- ⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

### 4 「自立」に係る児童の良さと課題(学習面、係活動、家庭学習等)

#### (1) 授業における児童の良さと課題

児童は、学級担任、ALTと英語でコミュニケーションをとる活動の中で、簡単な英語表現を聞いたり話したりすることに慣れ親しむようになっている。学級担任やALTの問いかけに対して何を話しているのか自ら考えペアと確認したり、教師に確認したりする児童は多い。しかし、英語で話すことに関しては自信のない児童もまだ多く、積極的に挙手して答えたりボランティアをすることのできる児童は少ない。また、自分なりの課題を持って学習に取り組むことのできない児童もいる。

#### (2) 授業以外の活動における児童の良さと課題

本学年の児童は、優しく素直な児童が多い。係活動や当番活動、委員会活動にも進んで取り組んでいる。

しかし、決められた仕事はきちんとこなしているが、自分で仕事を見つけて行うことや創意工夫して活動を行うことはまだできていない。

### 5 本時の指導「When is your birthday?」(4/4 時間)

#### (1) ねらい

自分や友達誕生日について尋ねたり答えたりすることができ、その表現に慣れ親しむことができる。

#### (2) 本時の評価規準

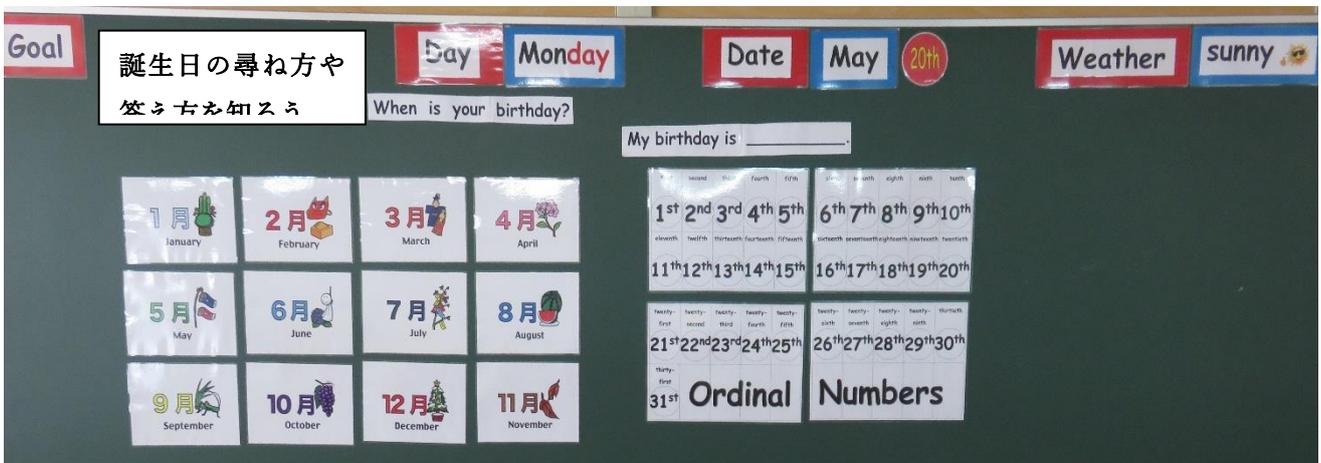
評価の観点	外国語への慣れ親しみ
評価規準	月や日を表す表現を言ったり聞いたりしている
評価方法	授業内：ワークシート、観察 授業後：振り返りシート

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

(3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入	①挨拶 ②3クエッション ③5ルール	①日直 ②3名の Volunteer ③全員で確認	・日付や曜日を黒板に掲示
展開	【Let's Listen1】 ・alphabet game ・めあての確認	・小文字のカードを見て形を識別する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">Goal: 誕生日の尋ね方や答え方を知ろう。</div> <b>【Activity 1】</b> ①monthの確認 ②祝日クイズ  <b>【Activity 2】 BINGO game</b> ① 友達の誕生日を尋ね、名前をワークシートに記入する。  ② 友達の誕生日を発表する。	・月ごとの英語での表現を知り、答える。 ・月日の英語を聞き、何の祝日か答える。  ・ビンゴゲームの説明を聞き、準備をする。 ・友達の誕生日を聞いてワークシートに名前を書く。 「When is your birthday?」 「My birthday is (        )」  My friend's birthday is (        )」	・担任がめあてを確認する  <b>【評価】</b> 月ごとの英語での表現を知り、答えている。  ・ALT と HRT でお手本を見せる。 ・尋ね(答え)られない児童がいれば個別に声掛けする。 ・英語での表記が当たっているか確認する。  <b>【評価】</b> 進んで友達に誕生日を尋ねたり、答えたりしている。
まとめ	・振り返りシートで本時の授業の振り返りをする。 ・終わりのあいさつ	・2～3名振り返り発表	・振り返りシートの文言を児童と確認しながら振り返りをさせる。

5 板書計画



## 自立活動指導案

特別支援学級

1 題材名 トーキングゲームを通して～自分の気持ちを伝えよう～

### 2 題材の目標

トーキングゲームを楽しみながら相手の話を聞いたり、自分の思いを伝えることができる

6-(2)【コミュニケーション】

### 3 本校校内研テーマ（授業の視点）

(1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育（自立）を視点においた「6つの手立て」を通して～

(2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

① 問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子

② 自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子

③ 自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子

④ 自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

(3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

① 全員つぶやき、全員挙手（ハンドサイン） ② 問い返しのある「対話」

③ 「振り返り」の充実 ④ 目標、振り返り、改善のある係活動等

⑤ ノーティーチャー授業の実施 ⑥ 自立的な家庭学習

### 4 自立に係る児童の課題

(3) 授業における児童の課題

人の話を最後まで聞けない、自分だけでしゃべり続ける、自分の気持ちをうまく表現できない

といった課題のある子が多い。

(4) 授業以外の活動における児童の課題

知的学級在籍児童 11人、情緒学級在籍児童 32人、言語学級在籍児童 1人の44人が支援学級に在籍している。ほとんどの児童は、集団に入るまでに時間がかかる、順番やルールを守ることが苦手、自分の思いが通らないと怒る、勝敗にこだわる、自分の思いを上手く伝えることが苦手である。そのため、他者と関わり合いながら活動する集団活動の場において苦戦している姿が見られる。

### 5 本時の指導「トーキングゲームをしよう!」（2/4 時間）

(1) ねらい

・自分の気持ちを自分の言葉で表現することができる

・友達の話最後まで聞くことができる

(2) 本時の評価規準

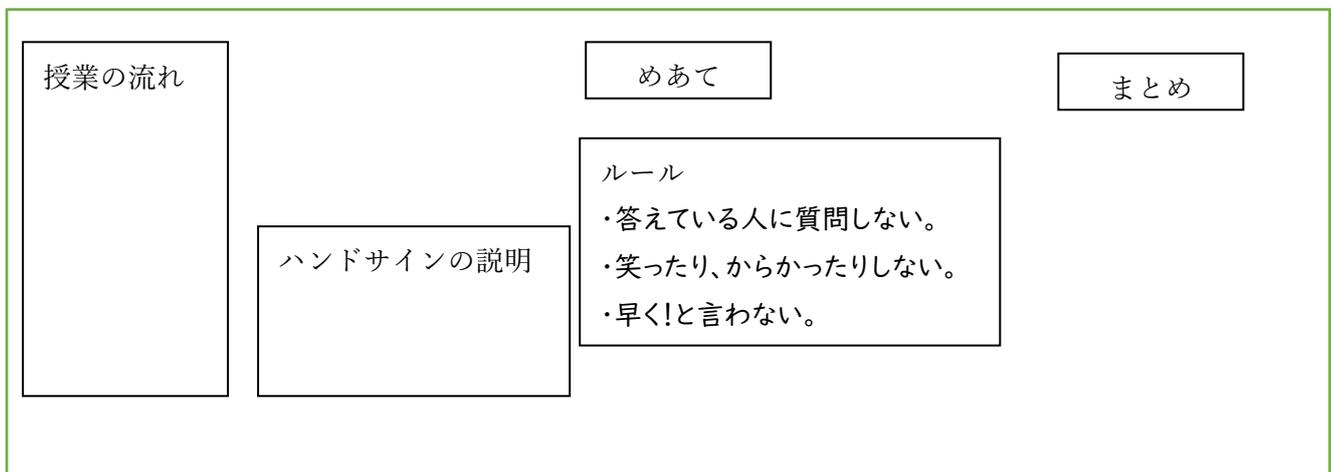
評価の観点	コミュニケーションの基礎的能力（相手話を聞く・自分の気持ちを話す）
評価規準	個々に応じたためあてを設定し評価を行う ※各クラス評価規準一覧票作成
評価方法	活動内容：行動、発言 授業後：ふりかえりの場での発言、日記

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

(3) 展開

展開	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入	1 前時の学習をふり返る。	○ゲームに勝つぞ! ○勝ち負けではなく、自分の気持ちを話したり、友達の話をきくゲームなんだ。	
展開	2 めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ルールを守って、トーキングゲームを楽しもう。</div> ・個々のめあてを確認する	○自分のめあては～すること	○個々のめあてを書いたカードを準備する
	3 ルールの確認	○楽しくするためのルールは守らなくっちゃ。	○配慮事項を確認する。 ・答えている人に質問しない。 ・笑ったり、からかったりしない。 ・早く!と言わない。
	4 トーキングゲームをする ゲーム①  ふりかえりタイム  ゲーム②	○ちゃんとと言えるかな。 ○ドキドキするな。  ○次はルールを守ろう。	○これまでのゲームをふり返りめあて達成に向けて、何ができて何ができていないかを意識しゲーム②で改善できるようにする。
5 活動のふりかえり   次時の予告	○～はできたぞ ○～はできたらよかったな。またやりたいな。	○口頭及び記述でふり返る。 ○なかなか発表できなければ、教師が先頭に立って、発表し手本を見せる。	

(4) 板書計画





## 【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

### 5 当該教科特性における自立の視点

・子ども達は、これまでに経験している積み木遊びや折り紙遊びなどを通して、身近なものの形を「まる」「さんかく」「しかく」などと言い表すことができる。しかし、これは感覚的な言葉であって、立体図形・平面図形どちらに対しても同じ言葉を使うなど、「なんとなく」形を見ていることが多い。そこで、身の回りにある形の特徴を子ども自身が意識できるような活動や経験が必要だと考える。そのために、ただ眺めるのではなく、手で触る・転がす・積み重ねる・面の形を写し取るといった操作を通じた観察をさせたい。そうすることで、ものの色・模様・大きさ・材質などに関係なく、形だけに着目して図形を観ることができるようになるであろう。

本時においては、ゲームで使うヒント作りをするために、形の特徴を自分なりの言葉で表現し、それをグループで話し合わせていきたい。ヒント作り際には、形状や機能的な側面、面の形に着目させたい。

### 6 本時の指導「かたち」（4/6時間）

#### (1) ねらい

- ・立体の特徴についての気づきを、自分なりの言葉で伝え合うことができる。

#### (2) 本時の評価規準

- ・形の特徴を見つけ自分なりの言葉で表現することができる。(ワークシート)
- ・形の特徴を伝えたり、質問することができる。

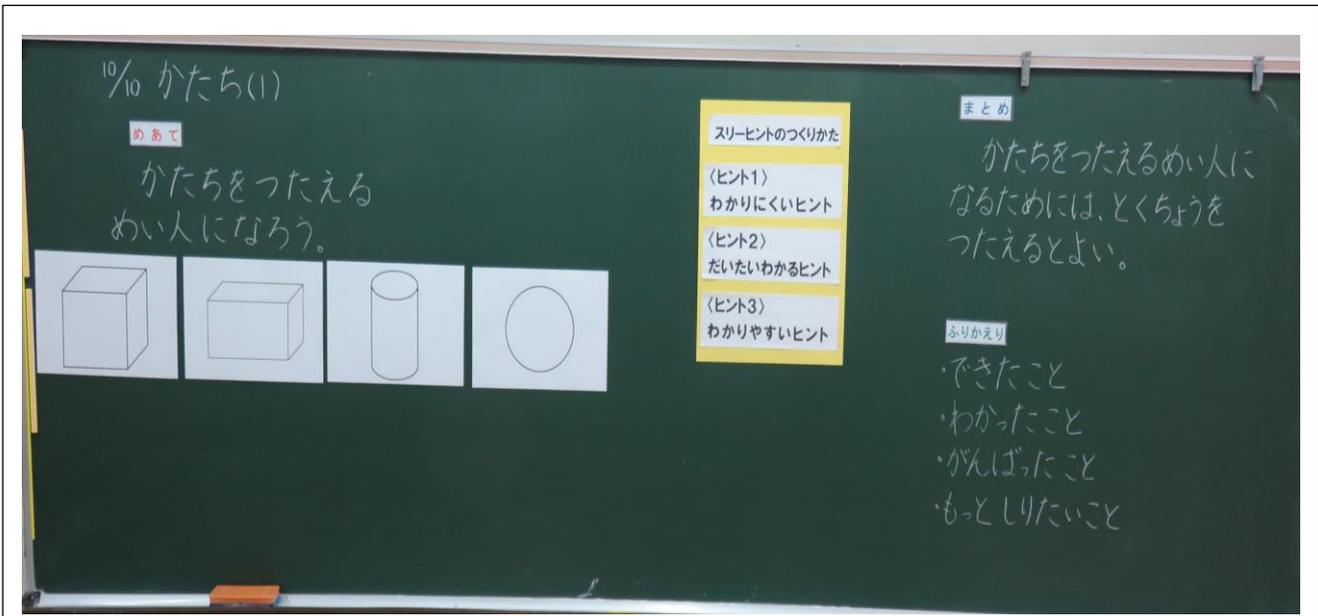
#### (3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
	1. 課題をつかむ(簡単な劇) ・特徴を捉えたヒント作りのやり方が分かる。 《あれとってクイズ》 「あれとって？」	「どれ?」「わからない」	・どんな説明をしたらよかったか、表現に気づかせる。
	<b>【めあて】</b> かたちをつたえる、めいじんになろう。		
	2. ワークシート ・立方体が直方体の確認をする。(一斉) ・その他3つの形の特徴を自分なりの言葉で表現する。	「長四角があります。」 「角が8こあります」 「周りが丸くなっています」 「平らなところがあります」 「転がる形です」	

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

<p>3. 話し合い活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで、どんなヒントにするか話し合う。</li> </ul>	<p>「ヒント1：平らなところがあります。」</p> <p>「ヒント2：立てることができます。」</p> <p>「ヒント3：転がります。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに答えが出ないようなヒントの出し方を考えさせる。</li> </ul>
<p>4. スリーヒントゲームをする (ゲームのグループ)</p>	<p>ヒントごとに、積み木で答え合わせをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良いなと思ったヒントを持ち帰って紹介させる。</li> </ul>
<p>【まとめ】形を伝える名人になるためには、形の特徴を伝えるとよい。</p>		
<p>5. 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できたこと</li> <li>・分かったこと</li> <li>・頑張ったこと</li> <li>・もっと知りたいこと</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの観点を提示する。</li> </ul>

(4) 板書計画



## 第2学年 国語科学習指導案（2回目）

### 1 単元名

お話の続きを書こう 『わにのおじいさんのたからもの』

### 2 単元の目標

登場人物のしたことを思いうかべながら読み、話の続きを書く。

### 3 本校校内研テーマ（授業の視点）

#### （1）テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育（自立）を視点においた「6つの手立て」を通して～

#### （2）本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

- ①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子
- ②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子
- ③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子
- ④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

#### （3）具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

- ①全員つぶやき、全員挙手（ハンドサイン） ②問い返しのある「対話」
- ③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等
- ⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

### 4 「自立」に係る児童の良さと課題（学習面、係活動、家庭学習等）

#### （7）授業における児童の良さと課題

- ・2学年の児童は、明るく男女の仲が良く、元気な子が多い。
- ・授業の中では、積極的に挙手して、発言する子とそうでない子の差がある。
- ・書く・音読・読み取りの活動に個人差がある。

#### （8）授業以外の活動における児童の良さと課題

- ・係活動を積極的に行い、話し合いや振り返りをする事ができる。
- ・家庭学習をしてこない子がいる。
- ・けがが多い。

### 5 当該教科特性における自立の視点

国語科では、新学習指導要領において『言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する』とある。自立の視点からすると、子ども達の現状が読みとりや想像力・理解力に個人差があり、物語文を通してこれらの力を身につけさせたい。そこで、本教材を通して想像力や語彙力を身につけ、「振り返り」の充実を図ることで、お話の続きを書く活動へ意欲的に取り組むと考える。

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

6 本時の指導

『 登場人物の行動や気持ちを想像する 』（ 9 / 13時間）

(1) ねらい

おにの子の気持ちを想像し、心的心声を考えよう。

(2) 本時の評価規準

登場人物の気持ちを想像し、心的心声を付け加えることができる。

(3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字カード→五問書く</li> <li>グループで4の場面を音読する（2分）</li> <li>夕焼けの挿絵を出す。（4の場面）</li> </ul>	<p>「〇〇さんの声で気持ちをこめて読んでいました。」</p> <p>「この場面好き！」</p> <p>「でもここセリフないよね。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読名人のできたレベルをハンドサインで表す</li> <li>子どもの「つぶやき」を生かして「めあて」（問い）を設定する。</li> </ul>
	<p>【めあて】心的心声を考えて、おにの子の気持ちを想像しよう。</p>	<p>「わあ…きれいな夕焼け。」</p> <p>「これがおじいさんの宝物だ」</p> <p>「生まれて初めてみた。」</p> <p>「どうしてこの言葉にしたの？」</p> <p>「おにの子は宝物を見たことがないとあったよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもまでの学習を振り返りながら考えて心的心声を書く。【書く】</li> <li>対話活動の場面を設定する。（質問や反論など双方向の対話）</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人学び時間</li> <li>おにの子の心的心声を書く。（付せん紙を教科書にはる）</li> <li>グループで発表し、なぜその言葉にしたのか質問し合う。</li> <li>全体で発表し合う。</li> </ul>	<p>「わあ…きれいな夕焼け。」</p> <p>「これがおじいさんの宝物だ」</p> <p>「生まれて初めてみた。」</p> <p>「どうしてこの言葉にしたの？」</p> <p>「おにの子は宝物を見たことがないとあったよ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもまでの学習を振り返りながら考えて心的心声を書く。【書く】</li> <li>対話活動の場面を設定する。（質問や反論など双方向の対話）</li> </ul>
	<p>【まとめ】心的心声はおにの子の行動や会話文から想像することができる</p>	<p>「続き話を書く時もおにの子の気持ちや行動を会話文に気を付けて書きたいです。」</p> <p>「どうやって書いていいかわからなかったけど友達の発表を聞いて書けた。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめを子供の声からひろろう</li> <li>友達から学んだこと考えたこと</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り</li> </ul>	<p>「続き話を書く時もおにの子の気持ちや行動を会話文に気を付けて書きたいです。」</p> <p>「どうやって書いていいかわからなかったけど友達の発表を聞いて書けた。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめを子供の声からひろろう</li> <li>友達から学んだこと考えたこと</li> </ul>

(4) 板書計画

十月十日木曜日 野山。谷。岩。

わにのおじいさんのたからものめあて

心的心声を考えて、おにの子の気持ちを想像しよう。

けもの道こわいなあ。

☆もう帰りをい。でも…

わあ。きれいなゆうやけ。

☆がんばってよかった。

夕やけのさし絵

これがおじいさんのたからものなんだ。

☆ぜったいそうだ。

まとめ

心的心声はおにの子の行動や会話文から想像することができる

ふりかえり

考えたこと

友達から学んだこと

やさしさ

行動

会話したこと

## 【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

### 第 3 学年 道 徳 科学習指導案（2回目）

1 主題名 家族で協力し合うこと （内容項目：C 家族愛、家庭生活の充実）

2 資料名 「お母さんのせいきゅう書」

3 校内研テーマ （授業の視点）

（1）テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育（自立）を視点においた「6つの手立て」を通して～

（2）本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子

②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子

③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子

④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

（3）具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

①全員つぶやき、全員挙手（ハンドサイン） ②問い返しのある「対話」

③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等

⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

4 「自立」に係る児童の良さと課題（学習面、係活動、家庭学習等）

（9）授業における児童の良さと課題

本校の児童は、明るく素直な子が多いが、授業中は積極的に挙手し、発言する児童は限定される。  
また、自分で課題を見つけ、他者と関わっていく主体性はまだ身につけていない。

（10） 授業以外の活動における児童の良さと課題

あいさつ、返事、宿題をするなど基本的なことが身につけていない。

5 当該教科特性における自立の視点

「自分事」として捉え、多面的・多角的に考える。

自分の考えを持ち、友だちと対話することで、新たな学びや深みを持つ。

6 本時の指導「 お母さんのせいきゅう書 」

（1）ねらい

無報酬の請求書から母親の思いを理解しただいすけを通して、家族の一員として、進んで楽しい家庭を作ろうとする意欲を高める。

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

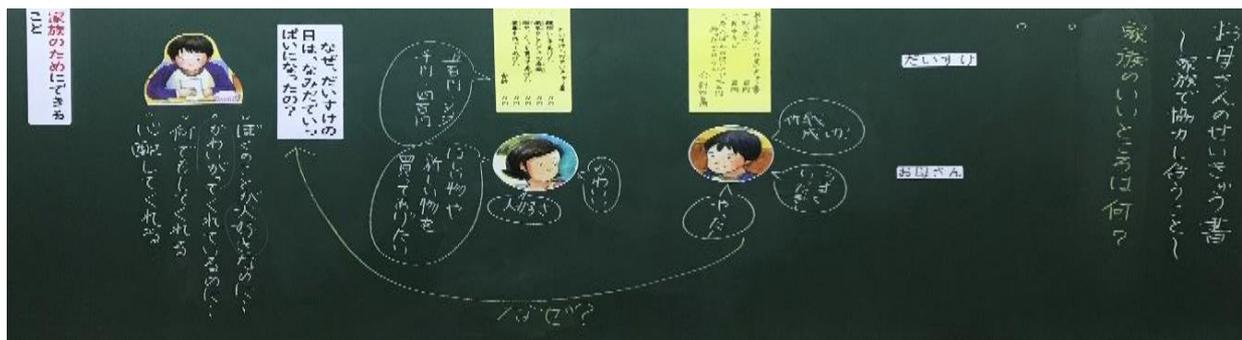
(2) 本時の評価規準

- ・書く活動の工夫。ワークシートに「家族のために」というような記述があるか。

(3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入			
展開	<p>【めあて】 家族のいいところはなあに？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文を読む。(P79 まで)</li> <li>・だいすけの気持ち(シメシメ感)を考え、発表させる。(ペアで話し合い)</li> <li>・教材文を読む。(残り) お母さんの気持ちをノート P 19 にお母さんの気持ちを書く。(お母さんが0円なのはなぜ?) ペアでの話し合をする。</li> <li>・お母さんの請求書を見て、だいすけの気持ちを考える。(ペア・グループで話し合い発表をする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お小遣いがふえた」「やった」「作戦成功」</li> <li>・「子供からお金はとらない」</li> <li>・「家族なのに」</li> <li>・「親だから」</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族のいいところをペアで発表させる。</li> <li>・正直な気持ちで言わせたい。</li> </ul>
	<p>【まとめ】 家族のためにできることは何でしょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・「なぜ？」の根拠が書いている。</li> <li>・発表</li> </ul>
振り返り			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり返しシート</li> <li>自分も家族の一員として役わりを担い、楽しい家庭にしていきたいと思い、これからなりたい自分を考えることができる。</li> </ul>

(4) 板書計画



## 第4学年 学級活動（1）指導案（2回目）

### 1 議題

「学級力アップ大作戦②」

### 2 議題の目標

〈集団〉 学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

〈個人〉 学級をよりよくするための方策を主体的に考え、話し合いに参画し協力し合って実践に取り組むことができる。

### 3 本校校内研テーマ（授業の視点）

#### （1）テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育（自立）を視点においた「6つの手立て」を通して～

#### （2）本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

- ①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子
- ②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子
- ③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子
- ④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

#### （3）具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

- ①全員つぶやき、全員挙手（ハンドサイン） ②問い返しのある「対話」
- ③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等
- ⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

### 4 「自立」に係る児童の良さと課題（学習面、係活動、家庭学習等）

#### （1 1） 授業における児童の良さと課題

○グループでは積極的に自分の意見を伝えようとしている児童が多い。

●個人差が大きく、考えることはできても全体の場で伝えることに苦手意識のある児童がまだいる。

●自信のなさから発表するときの声小さく話し合いがスムーズにいかないことがある。

#### （1 2） 授業以外の活動における児童の良さと課題

○自分の役割以外の係や当番の活動も自主的に手伝うことができる。

●特定の児童が家庭学習や学習用具の準備の習慣が身につけていない。

### 5 当該教科特性における自立の視点

① 自分の考えを伝えることができる。

② 互いの意見の違いや多様な考えがあることを大切にすることができる。

③ 課題に対し、どのような行為・行動をとるべきかを自分の意思、あるいは集団で決定し、実践することができる。

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

6 本議題の評価

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨	○学校生活を他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	○学級をよりよくするための課題を解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	○学級における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
評価 規 準	前事	・学級会で話し合うべきことや、進行の仕方を理解している。	・提案理由としてふさわしい内容を考え、判断して議題を提案しようとしている。 ・学級会の目的に合った意見を考え判断し書くことが出来る。
	話し合い	・学校生活を他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身につけている。	・学級をよりよくするための課題を解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。
	事後		・仲間と協力しながら進んで会の実践に向けて取り組んでいる。 ・会の目的を考え、周りと協力しながら準備したり参加したりしている。

7 本議題の活動計画

日時	児童の活動	事前	指導上の留意点	目指す児童の姿
6月 日	○学級力アップ大作戦①	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの実施</li> <li>アンケートの結果をもとに課題を見つけ改善点を考えノートに記入する。(個人)</li> <li>司会グループの仕事内容の打ち合わせと話し合い活動の流れやまとめ方のシュミレーション。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい学級づくりのための話し合いだという意識を持たせる。</li> <li>自分の意見と他者の意見の共通点や相違点を考えながら、めあてを達成するための合意形成が図れるようにする。</li> </ul>	【学びに向かう力】 ・よりよい学級づくりのために進んで課題を見つけ考えようとしている。
10月10日	○学級力アップ大作戦②			【思考・判断・表現】 ・学級会の目的に合った意見を考え判断している。
11月 日	○学級力アップ大作戦③			・折り合いをつけて合意形成を図ろうとしている。
1月 日	○学級力アップ大作戦④			【知識・技能】 ・学級会で話し合うべきことや、進行の仕方を理解している。
3月 日	○学級力アップ大作戦⑤			

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

8 本時の指導「学級力アップ大作戦②」（ 2 / 5 時間）

(1) ねらい

学級の生活をよりよくするための「学級力アップ大作戦②」の話し合いを通して、友達の立場や思いを認め合いながら合意形成を図る。

評価の観点	よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や 実践活動を通じた思考・判断・表現
評価規準	学校生活を他者と協働して取り組むことの 大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方 法を身につけている。	学級をよりよくするための課題を解決するた めに話し合い、多様な意見を生かして合意形成 を図り、協力して実践している
評価方法	授業内：観察 授業後：学級会ノート	

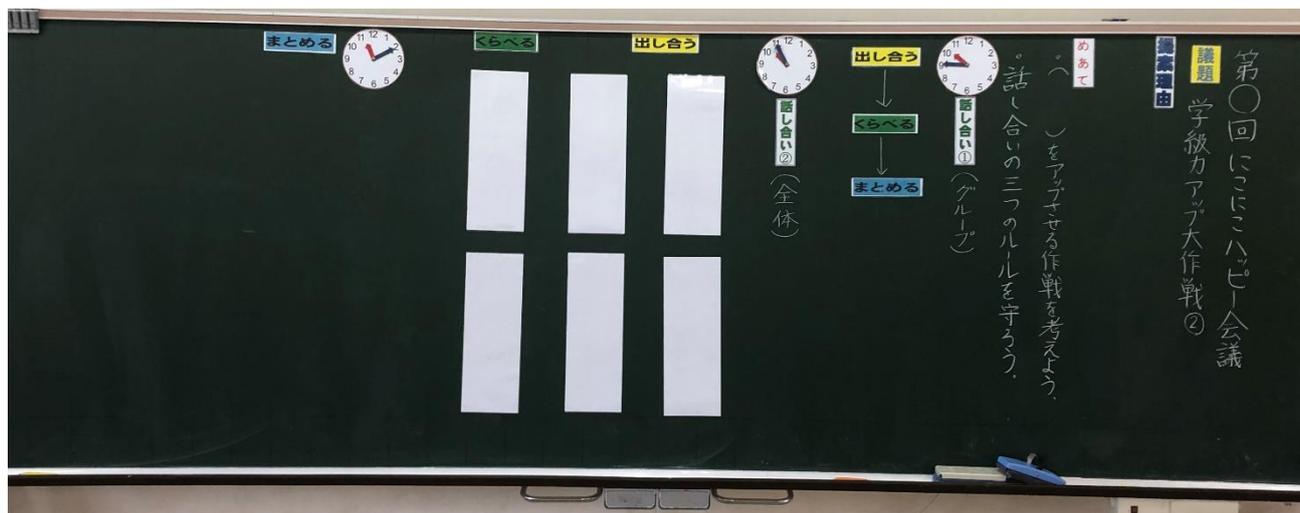
(3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
出 し 合 う  比 べ る  決 め る	1. はじめの言葉 司会グループの紹介	【議題】学級力アップ大作戦②	
	2. 議題と提案理由、めあての確認をする。	【提案理由】 ○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・	
		【めあて】・( ) をアップする作戦を考えよう ・話し合いの3つのルールを守ろう。	
	3. グループで話し合う。 ・グループで話し合いの順序に従って意見をまとめる	・○○さんの意見と同じだ ・○○さんの意見はいいね。	・事前に自分の考えをノートに書いておく。
	4. グループの意見発表 ・1～6グループの意見を発表し黒板に貼り出す。 ・質疑応答	・○グループの方法はどういう意味ですか？ ・○グループと○グループの意見は似ているね。	〈準備〉 ・記録の用紙、マーカー ・話し合いのシナリオ
5. クラスで取り組むことを決定する。 ・司会はめあてに近づくように意見をまとめていく。	・提案理由に近いから○グループの意見がいいね。	・時間がきたら質疑応答はやめて決めていいか確認する。	

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

<p>6. ふり返りを書く。</p> <p>7. 先生の話</p>	<p>・今日決まった作戦を成功させるために自分ができることや友達の良かったところを考えてノートに書く</p>	<p>・みんなで話し合っ取り組むことを決められたことをほめる</p> <p>・司会グループをほめる。</p>
-----------------------------------	--	--

(4) 板書計画



## 第5学年 社会科学習指導案（2回目）

1 単元名 工業生産を支える人々 「自動車づくりにはげむ人々」

### 2 単元の目標

工業がさかんな地域の様子を具体的に調べ、工業生産に携わり人々が生産を高める工夫や努力をしていることや、日本の工業の特色や課題などを捉えさせる。

### 3 本校校内研テーマ（授業の視点）

(1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育（自立）を視点においた「6つの手立て」を通して～

(2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子

②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子

③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子

④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

(3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

①全員つぶやき、全員挙手（ハンドサイン） ②問い返しのある「対話」

③「振り返り」の充実 ④目標、振り返り、改善のある係活動等

⑤ノーティーチャー授業の実施 ⑥自立的な家庭学習

### 4 自立に係る児童の課題

(1 3) 授業における児童の課題

主体的に学ぼうとする意欲は出てきているが、「問」に対して積極的に「解」を探そうとする児は少なく、受け身的な傾向にある。積極的に挙手し、発言する子も限られているなど課題が残る。

(1 4) 授業以外の活動における児童の課題

普段の当番活動や係活動において、与えられた仕事は快く引き受け、最後までやり遂げるが、自ら仕事を見つけ、主体的に活動することに課題がある。

### 5 本時の指導「乗る人の願いに答えて」（12 / 13時間）

(1) ねらい

自動車に乗る人の願いが、自動車づくりにどのように生かされているのか具体的に調べ、消費者のニーズを反映した自動車づくりが進められていることを捉えることができるようにする。

(2) 本時の評価規準

収集した資料をテーマにそって整理・分類したり、消費者のニーズとすり合わせて読み取ったりしている。【技能】

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

(3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入	1. 前時のふり返りとめあて		<p>・自動車のデザイナーの車作りに対する思いを振りかえさせ、めあてにつなげる。</p> <p>・意欲的に「解」へと向かわせるような「問」を持たせたい。</p> <p>・「自分」目線から、さまざまな立場の目線へ見方を多様化させたい。</p> <p>・フォトランゲージから調べる視点をつかませる。</p> <p>・各社のパンフレットから様々な立場の人のニーズに応えるための開発・工夫について調べることができるようにする。</p> <p>・キーワードで分類しながら調べることができるようにする。</p> <p>◇収集した資料をテーマにそって整理・分類したり消費者のニーズとすりあわせて読みとったりしている。【技能】</p>
展開	2. 予想をたてる	<p>○事故を防げるような安全な自動車。</p> <p>○運転しやすい。</p> <p>○環境にやさしい自動車。</p>	
	<p>フォトランゲージ (福祉車両)</p>	<p>○体の不自由な人が乗る車</p> <p>○車いすのまま乗れる。</p>	
	3. 3つの観点をもとに分類しながら調べる	<p>・お年寄りや障がいのある人 赤ちゃんを連れた人などに関するニーズ</p> <p>・交通事故の防止、乗る人や通行する人の安全などに関するニーズ</p> <p>・運転のしやすさ、便利さ、気軽さなどに関するニーズ</p>	
まとめ	5. まとめ		
	<p>お客様の様々なニーズに応じて、使いやすさや安全性などを高める自動車づくりが進められている。</p>		
	6. ふり返り		

(4) 板書計画

**めあて**  
10% (木) 乗る人の願いに応じて  
自動車は、人々のどのような願いを取り入れて作られているのだろう。

**予想**  
・事故を防げるような安全な自動車。  
・運転しやすい。  
・環境にやさしい。

**お客様のニーズ**  

- 車いすを使っているわたしにも、乗りやすい自動車がいしいな。
- 交通事故にまきこまれるのが心配だな。
- 駐車や運転が楽にできる自動車がほしいな。

**まとめ**  
お客様の様々なニーズに応じて、使いやすさや安全性などを高める自動車づくりが進められている。

**ふりかえり**

体の不自由な人  
車いすのまま乗れる  
車いすをおす人も  
乗。→スロープ

## 第6学年 英語科学習指導案（2回目）

### 1 単元名 What do you want to be?

### 2 単元の目標

- ・将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりし、簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を例を参考に書いたりする。
- ・他者に配慮しながら、将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。
- ・職業の言い方の日本語と英語の言い方に違いに気づく。

### 3 本校校内研テーマ（授業の視点）

- (1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」  
～キャリア教育（自立）を視点においた「6つの手立て」を通して～
- (2) 本校がめざす「自立した学習者」とは  
自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子
  - ①問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子
  - ②自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子
  - ③自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子
  - ④自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子
- (3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて
  - ①全員つぶやき、全員挙手（ハンドサイン）
  - ②問い返しのある「対話」
  - ③「振り返り」の充実
  - ④目標、振り返り、改善のある係活動等
  - ⑤ノーティーチャー授業の実施
  - ⑥自立的な家庭学習

### 4 「自立」に係る児童の良さと課題（学習面、係活動、家庭学習等）

#### (15) 授業における児童の良さと課題

本学年の児童は、基本的な学習規律が整いつつある。授業中は、友達の意見を素直に受け入れることができるので、思いや考えを言葉にしてつぶやいたり、発表したりする雰囲気ができている。しかし、自分の意見を発表することができる児童はまだ限られている。

英語も好きな児童は多いが、自信がないので声に発することができない、やりとりはまだできないという児童も多い。

#### (16) 授業以外の活動における児童の良さと課題

授業以外の係や当番活動には協力して取り組むことができるが、その内容、取り組み方には差がある。また、家庭学習に関しても、自立学習も身に付きつつあるが、内容には差がある。自分なりの問いを持って活動することが課題である。

### 5 当該教科特性における自立の視点

自分の夢や将来について考えたり、語り合ったりする活動は児童にとっては比較的身近な活動である。児童は、キャリア教育の一環として夏休みに身近な大人へ仕事に関するインタビューをしたり、自分の適正について考えたりする活動も行う予定であり、本単元での活動もスムーズに入ることができると考えられる。

本時は、全員が友達の夢についてインタビューをし、自分のやってみたい職業を伝える活動を行わせる。やりとりを通して相互理解を深め、自分の力で質問したり答えたりすることができるような児童を育てていきたいと考える。

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

6 本時の指導「What do you want to be?」( 2 / 4 時間)

(1) ねらい

将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。

(2) 本時の評価規準

評価規準	自分の将来の夢について I want to be～.の表現を使って話す。
評価方法	授業内：観察、教科書への書きこみ 授業後：リフレクションシート

(3) 展開

過程	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入	1 はじめのあいさつ あいさつ・日付の確認・ 5ルール 2 Small Talk なりきりトークング 3 めあての確認	○How are you? I'm～. October 10 <sup>th</sup> .  ○子どものころの先生の夢だ What do you want to be? I want to be a singer.	・ペアで会話する雰囲気を作る。 ・全員が話せるようにする。
<b>【めあて】 将来の夢を伝え合おう。</b>			
展開	4 Sub Activity 【Let's Chant】 HF P40 チャンツの練習をする 【let's Listen】 WC P61 教科書の 3 人の夢の話聞いてメモ を取る。 ・様々な職業の言い方の練習をする 5 Main Activity 【Let's Talking】 自分の就きたい職業について話す ① ペアで ② 全体で	○ What do you want to be? I want to be a singer. ○Kenta・・・Baseball player Aoi・・・Pianist Satoshi・・・Train conductor  ○ What do you want to be? I want to be a ～. Wow! Why? Because～.	・ What do you want to be? I want to be a ～.の表現に十分に慣れさせる。 ・話している人の名前、将来の夢、その理由を聞くよう目的を持って聞かせる。  ○難しい職業やわからない職業、言い方は日本語で伝えてもよいことを確認する。 ○相手の話につけて、会話になるようにリアクションをさせる。
まとめ	6 まとめ・振り返り  <b>【まとめ】 友達に自分の将来の夢を伝えたり、友達の夢について尋ねることができた。</b>  終わりのあいさつ	○将来の夢を英語で伝えることができた。 ○I want to be～.の言い方がわかった。	・本時の目標が達成できたか挙手で確認する。  ・リフレクションシートに自分のできたことの振り返りをさせる。

(4) 板書計画



## 自立活動指導案（2回目）

特別支援学級

1 題材名 トーキングゲームを通して～自分の気持ちを伝えよう～

### 2 題材の目標

相手に聞きたいことを見つけ、質問を考えることができる。 6-（3）【コミュニケーション】

### 3 本校校内研テーマ（授業の視点）

(1) テーマ「自立した学習者としての児童の育成」

～キャリア教育（自立）を視点においた「6つの手立て」を通して～

(2) 本校がめざす「自立した学習者」とは

自分で課題を見つけたり、関わったりするなど主体的に学習できる子

① 問いかけに対してうなずいたり、つぶやいたりといった反応を示すことができる子

② 自分なりの「問い」を持ち、自分なりの「解」を探そうとする子

③ 自分の考えを持って、積極的に挙手し、表現しようとする子

④ 自分自身の学習の課題や問いをもとに家庭学習が進められる子

(3) 具体的な手だて \_\_\_\_\_ は授業における具体的な手だて

① 全員つぶやき、全員挙手（ハンドサイン） ② 問い返しのある「対話」

③ 「振り返り」の充実 ④ 目標、振り返り、改善のある係活動等

⑤ ノーティーチャー授業の実施 ⑥ 自立的な家庭学習

### 4 自立に係る児童の課題

(17) 授業における児童の課題

相手意識が弱いため、一方的なコミュニケーションになりがちな児童が多い。

(18) 授業以外の活動における児童の課題

知的学級在籍児童 11人、情緒学級在籍児童 32人、言語学級在籍児童 1人の44人が支援学級に在籍している。ほとんどの児童は、集団に入るまでに時間がかかる、順番やルールを守ることが苦手、自分の思いが通らないと怒る、勝敗にこだわる、自分の思いを上手く伝えることが苦手である。そのため、他者と関わり合いながら活動する集団活動の場において苦戦している姿が見られる。

### 5 当該教科特性における児童の良さと課題

トーキングゲームの質問を参考にしながら、自分の言葉で質問したいことを考える。

6 本時の指導「トーキングゲームをしよう!」（5/7 時間）

(1) ねらい

・質問したいことを見つけ、自分の言葉で表現することができる

(2) 本時の評価規準

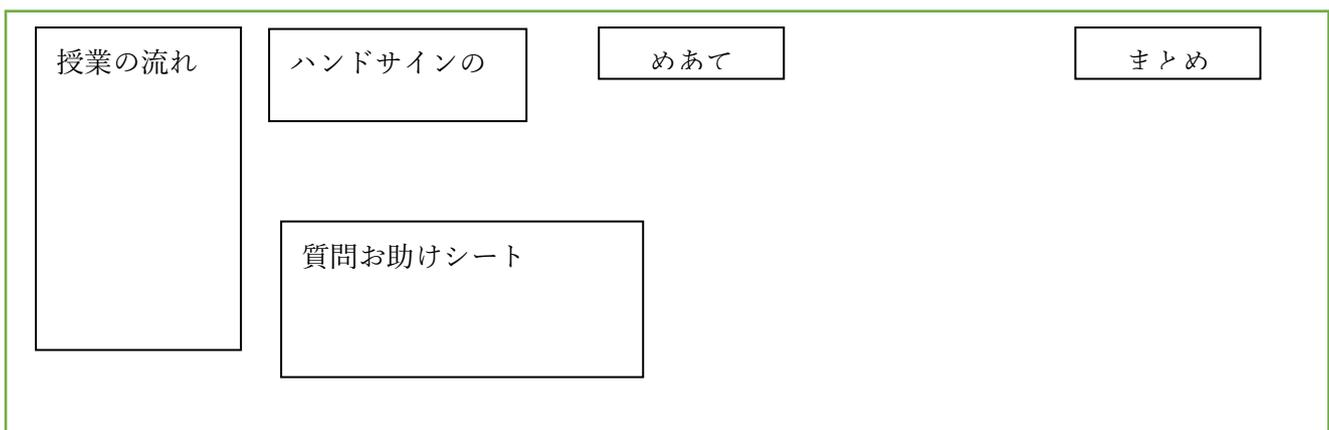
評価の観点	コミュニケーションの言語形成と活用の基礎的能力（相手を意識して、質問を考える）
評価規準	個々に応じたためあてを設定し評価を行う ※各クラス評価規準一覧票作成
評価方法	活動内容：行動、発言、ワークシート 授業後：ふりかえりシート

【自立した学習者を育成する授業指導案様式】

(3) 展開

展開	学習活動・内容・発問等	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等
導入	1 前時の学習をふり返る。	○また、ゲームやりたい。 ○勝ち負けではなく、自分の気持ちを話したり、友達の話をきくゲームなんだ。	
展開	2 めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">相手に聞いてみたいことを考えよう。</div> ・個々のめあてを確認する	○自分のめあては～すること	○個々のめあてを書いたカードを準備する ○2枚のカードを比べて、どのカードが答えたくなるかを考える。 ※3, 4は学級の実態に応じて入れかえ有り。
	3 トーキングカードをつくろう ・質問に対する文末表現の確認 4 自分のおすすめのカードを発表しよう	○たくさん作るぞー。 ○どんなカードを作ろうかな。 ○何を聞こうかな。  ○ぼく・わたしのカードは～です。	○質問を考えられない子に質問のお助けカードを提示する。 ○友達の作ったカードを聞いて、笑ったりからかったりしない。 ○ハンドサインを通して、確実に意思表示をする ○声の小さい子はハンドマイクを活用する ○教育機器の活用（書画カメラ等）
まとめ	5 まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">相手に聞きたいことをみつけることができた。</div>		
	6 活動のふりかえり  次時の予告	○たくさんカードが作れた。 ○早くゲームをやりたい。 ○次のゲームが楽しみ。	○口頭及び記述でふり返る。 ○なかなか発表できなければ、教師が先頭に立って、発表し手本を見せる。

(4) 板書計画



【自立した学習者を育成する授業指導案様式】